



かわのゆうじ
川野優治

太陽光発電のリスクは

～全損というリスクは少ない～

質

住宅用ソーラーパネルと異なり、地上に設置されるソーラーパネルは、後ろからの風（北風）には弱く、超大型台風が襲来すれば壊滅的な被害がでることが危惧されるが、どのように対応するのか。

答

環境衛生課長

損害保険に入る予定ですが、ある保険会社の例では被害物件の価格の5割ぐらいしか補てんされないという例が提示されていましたので、内容については今後、検討していきます。

質

* 太陽電池モジュールの出力は、10年で1割くらい低下すると言われていたが、この点をどう認識しているか。

答

環境衛生課長

種類やメーカーによって違いもあり、また使用環境などによっても異なりますが、他の発電施設に比べて稼働部がないことから、経年劣化などが少ないと言われています。

しかし、紫外線などで太陽光モジュールに使用している樹脂が劣化したり、表面に付着した油分やしつこい汚れが原因で、発電効率が落ちることが考えられるため、表面の清掃など維持管理に努め、少しでも発電効率などが持続できるための対策を行っていきます。

これからのごみ処理は

～他の自治体や民間業者と連携～

質

本市にはごみの最終処分場がなく、市民は将来に大きな不安を抱えている。

今後のごみの最終処分は、どのようにするのか。

質

国がごみ処理の広域化の方針を打ち出しているが、本市のビジョンは。

答

環境衛生課長

県が広域化を6ブロックに分けており、本市については佐伯市と一緒の県南大野ブロックで、県の指導に基づいて対応していきたいと考えています。

答

環境衛生課長

今年度中に新たな受入先を選定しなければなりません。県北にある業者の紹介を受けており、今後は現地視察や最終処分場がある自治体と協議を重ねながら、適切な受入先を選定していきます。



豊後大野市清掃センター

※ 太陽電池モジュール=太陽の光エネルギーを電気に変換する装置。

内発的産業振興は可能か

～資源の循環へと結びつく手法で実施～



あか みね てる ひろ
赤 峰 映 洋

質

市内に今ある財産や資材、または人材を大いに活用して、産業を掘り起こせないか。

答

市長

私たちが現有している地域資源を最大限、有効に使うことであり、それにより消耗ではなく、資源の循環へと結びつく手法で実施することにより、このまちの未来が切り開かれていくものであります。

質

施策を推進するリーダーとなる人づくりは、

答

市長

それぞれの分野での人材育成が不可欠であり、農業分野ではインキュベーション事業での担い手や認定農業者などの人材育成、観光分野では、その受け皿となる組織の再編や農家民泊の拡大・充実などが必要で、協働によるまちづくりの実現のため、地域コミュニティの運営を担う人材の養成も職員の研修とともに実施していきたいと思えます。

住民・議会・行政がそれぞれの役割を果たしながら、協働の取り組みによるまちづくりができることを期待し、地域振興を実践していきます。

質

20年あまり放置した状態だが、有効活用の計画はあるのか。

答

財政課長

太陽光発電施設の設置箇所として検討しましたが、洪水に伴う危険箇所という観点などを考慮し、計画を断念したところです。

今後は、洪水による大野川水位の上昇時に内水を受け止める調整池としての役割を担う場所となることから、大野川河川改修事業の計画や詳細設計、事業展開を見ながら慎重に対応していきます。

旧犬飼小学校跡地は、
近隣住民の意見を尊重し有効活用を
大野川河川改修の事業展開を見ながら対応

質

近隣住民との橋渡しをするのは、どこか。

答

建設課長

建設課と犬飼支所で担当しています。



旧犬飼小学校跡地

※その他の質問
・自主財源確保の取
り組みについて

※ 協働＝市民、事業者、行政、議会などが互いに尊重しながら協力すること。